

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
令和元年度 第1回 定時評議員会
議 事 録

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
令和元年度第1回定時評議員会議事録

日時 令和元年5月10日（金）
午後4時2分 開会
場所 調布市武者小路実篤記念館
地下作業室

出席評議員（5人）

評議員	武者小路 信知
評議員	浅 井 京 子
評議員	瀧 田 浩
評議員	小 西 聡
評議員	齋 田 文 雄

出席理事

理事長	武者小路 知行
常務理事	大 木 正 勝

相談役	福 田 宏
-----	-------

事務局	局長代理	福 島 さとみ
	次長	伊 藤 陽 子
	総務係主任	石 井 めぐみ

（午後5時17分 閉会）

[議事次第]

－理事長挨拶－

第1 議題

(1) 審議事項

- ア 議案第1号 議事録署名人選出について
- イ 議案第2号 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について
- ウ 議案第3号 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について
- エ 議案第4号 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について
- オ 議案第5号 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について
- カ 議案第6号 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について
- キ 議案第7号 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について
- ク 議案第8号 平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告（案）の承認について
- ケ 議案第9号 平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算（案）の承認について

(2) 報告事項

- ア 報告第1号 令和元年第2回調布市議会定例会に提出する一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の経営状況報告について

第2 その他

○事務局　それでは、定刻になりましたので、令和元年度、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館、第1回定時評議員会を開催させていただきます。

私は、本年4月1日から本財団法人の事務局長に就任いたしました福島さとみです。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本財団法人は、本年4月から調布市武者小路実篤記念館の指定管理者として、第2期目となる10年間のスタートを切りました。令和元年度はその第1年次という非常に重要な年であり、また、財団自体も新たな人員体制での事業運営の出発となります。

評議員の皆様には、これまでと変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。また、お手元には展覧会等の資料を配付させていただいておりますので、ご確認をお願いいたします。

それでは、これから評議員会を開催させていただきます。評議員会の議長は、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の定款第18条の規定により、評議員会に出席されている評議員の中から選出することになっていますが、いかがいたしましょう。

（「事務局一任」）

○事務局　ただいま事務局一任との声がありましたが、事務局一任とさせていただきますのでよろしいでしょうか。

（「異議なし」）

○事務局　異議なしとのことですので、事務局長から議長を指名させていただきます。瀧田浩評議員にお願いしたいと思います。瀧田評議員、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、これより瀧田評議員が議長として議事進行をしていただきますので、議長を交代させていただきます。

○議長　それでは、私が議長を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

では、議事に入ります前に、本日の評議員会の効力について、事務局からご報告、お願いいたします。

○事務局　本日の評議員会は、評議員5名全員が出席しておりますので、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の定款第19条に規定する定足数に達していますことを報告いたします。

○議長　それでは、定足数に達しているということですので、これより議事次第のとおり進めてまいります。

まず初めに、議案第1号「議事録署名人の選出について」を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いいたします。

○事務局 議事録署名人につきましては、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第22条第2項の規定の基づき、出席した評議員の中から2名を選出することとなっています。いかがいたしましょうか。

(「事務局一任」)

○事務局 ただいま、事務局一任との声がありました。事務局一任とさせていただきますよろしいでしょうか。

(「異議なし」)

○事務局 異議なしということなので、事務局から指名させていただきます。武者小路信和評議員と齋田文雄評議員を議事録署名人に選出させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○議長 では、続きまして、議案第2号から第7号までの「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について」を議題とします。

議案各号全て理事の選任についての議案でありますので、一括して説明願います。

それでは、事務局から説明をお願いします。

○事務局 ただいま、これから理事の候補者の名簿を配付いたしますので、それをごらんいただきながら説明をさせていただきたいと思えます。

議案第2号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について」から議案第7号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について」まで、一括して説明をさせていただきます。

説明に入る前に、ただいま理事選任のご了承をいただく6名の方の名簿を配付させていただきました。ごらんいただきたいと思えます。

それでは、説明させていただきます。

これまでの理事の任期でございますが、本日令和元年5月の定時評議員会までとなっておりますので、評議員会に理事の選任をお願いするものでございます。

理事候補者名簿の上から順に、議案第2号の理事の選任は武者小路知行氏、議案第3号の理事の選任は大木正勝氏、議案第4号の理事の選任は柏原公毅氏、議案第5号の理事の選任は岩本宏樹氏、議案第6号の理事の選任は安本登喜子氏、議案第7号の理事の選任は濱嶋稔氏でございます。

6名の方、いずれもこれまで理事をされてこられましたが、改めて選任

をいただきたく、よろしく審議のほどをお願い申し上げます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長　それでは、ただいま事務局から議案第２号から第７号まで説明がありました。

まず、初めに議案第２号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事武者小路知行氏の選任について」、ご質問はありませんか。

（「異議なし」）

○議長　ほかに質問等ございませんでしょうか。

それでは、異議なしと認め、議案第２号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について」は了承することと決定いたしました。

次に、議案第３号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事大木正勝氏の選任について」、ご質問はありませんか。

（「異議なし」）

○議長　それでは、こちらも異議なしと認め、議案第３号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について」は了承することと決定いたしました。

次に、議案第４号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事柏原公毅氏の選任について」、ご質問はございませんか。

（「異議なし」）

○議長　それでは、こちらも異議なしと認め、議案第４号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について」は了承することと決定しました。

続きまして、議案第５号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事岩本宏樹氏の選任について」、こちらについてご質問はございませんか。

（「異議なし」）

○議長　それでは、こちらのほうも異議なしと認め、議案第５号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について」は了承することと決定しました。

次に、議案第６号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事安本登喜子氏の選任について」、こちらについてご質問はございませんか。

（「異議なし」）

○議長　それでは、異議なしと認め、議案第６号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について」は了承することと決定しました。

続いて、議案第７号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事濱嶋

稔氏の選任について」、こちらについてご質問はありませんか。

（「異議なし」）

○議長　それでは、異議なしと認め、議案第7号「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事の選任について」は了承することと決定いたしました。

では、続きまして、議案第8号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告（案）の承認について」を議題といたします。

事務局から説明をよろしく願いいたします。

○事務局　議案第8号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告（案）の承認について」。上記の議案を提出する。

令和元年5月10日、提出者一般財団法人調布市武者小路実篤記念館理事長、武者小路知行。

提案理由、平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告の承認を求めるため、提案するものであります。

それでは、事前にお送りしております事業報告（案）をお手元にござんいただきながら、ご説明をさせていただきます。

まず、1ページ目でございますが、概要の部分でございます。平成30年度は一般財団法人として発足して6年目、指定管理者としては業務5年目の指定管理期間の最後の年ということになりました。

設立理念に基づきまして、実績と信頼を生かしながら、市民の文化の拠点、教育、芸術・文化の場となるように努めてまいりました。また、運営面におきましても効率的であること、安全性、継続性のある運営体制の構築を進めてまいりました。

事業目標につきましては、下に書かれてあるとおりでございます。

それでは、8ページ以降の表のページをござんいただきながら、ご説明をさせていただきます。

（1）の展示事業でございますけれども、平成30年度は春の特別展といたしましては、「『誰でも画はかける』～小池邦夫がえらぶ武者小路実篤の書画～」を開催しました。

小池氏は、現在も活動をしておられる創作者でございますけれども、そういった方に監修を依頼するということは初めての試みでございます。絵手紙を習い事としておられる層の来館につなげるという成果を上げることができました。

秋は、特別展といたしまして、実篤記念館では「新しき村の100年」

を開催いたしました。こちらは実篤が、文学・美術とともに3つ目の柱として挙げております新しき村について、100周年を迎えるということで、実篤の考え方、それから村の歴史や時代ごとの評価などをご紹介いたしました。100年ということでご興味を持たれた方、もともとそういったことに関心のある方に加えて、コミュニケーションなどについて関心のある方のご来館をいただくことができました。

この特別展と連動いたしまして、調布市文化会館たづくりの展示室で隔年で開催しております移動展では、「新しき村美術展」を開催しました。

こちらでは、実篤や新しき村会員が制作した美術作品を展示することで、社会的な活動としての村だけではなくて、個人の個性発揮、自己表現という部分が新しき村にとっては大切な側面ですので、そちらをあわせて見ていただく機会といたしました。

この特別展と移動展の様子につきましては、本日お配りしました参考資料の1に会場の様子の写真を掲載しております。

続きまして普及事業でございます。9ページ以降を見ながら、ご説明をさせていただきたいと思っております。

まず、講演会・講座等の事業でございますが、平成30年度は、年間で24件の講座・講演会など36回を開催いたしました。このほかスタンプラリーの実施であるとか、鑑賞のための工夫などを行っております。

春の特別展では、監修者による講演会を開催することで、展覧会と普及事業の効果的な連携を行うことができました。

それから、秋の展覧会にあわせた行事でございますが、10ページの中ほどあたりからがその行事になりますが、まず、特別展と移動展にあわせてさまざまな普及事業を行いました。平成29年度から撮影を行ってきた映像を作品化して上映する創立記念日である11月14日に上映するとともに、新しき村の会員のお話を聞く会と、それから、過去につくりました映像の上映会や文学講座なども開催することで、展示だけでは表現し切れない実篤の考え方であるとか、会員の思いなどに理解を深められるように実施いたしました。

こちらの行事につきましても、参考資料1の2ページにその様子などの写真を掲載しております。

この特別展と移動展が実篤記念館とたづくりという2カ所で関連した展覧会として開催いたしましたので、この間をつなぐということで、スタンプラリーを行って、両方に訪れていただく動機づけということを行ってお

ります。こちらがまず、10ページの中ほどにスタンプラリーの成果が表示してございます。

それから、平成29年度に続きまして、ゲームとのコラボレーションをこの2会場で行いまして、こちらも若い女性であるとか、二、三十代の方の関心を持っていただく機会といたしました。

普及事業といたしましては、他の自治体や近隣美術館との連携を進める企画といたしまして、これまでも行ってきた多摩川流域自治体交流イベントラリーに加えまして、3月から新たに府中市美術館、小金井市立はけの森美術館と実篤記念館でのスタンプラリーを実施しております。こちらも参考資料の1の2ページ目の一番下のところにスタンプラリーの写真を載せております。

続きまして、学校教育との連携でございます。11ページから12ページにかけてまとめてございます。

平成30年度に特徴的なことといたしましては、夏休みの行事案内のチラシを市内の小中学生全員に配布しておりますが、このチラシの表紙をこれまでは第四中学校にお願いしていたんですが、連携先を広げまして第六中学校の美術部の生徒さんに書いていただいております。こちらも参考資料の3ページ目の中段のところにチラシの図版を載せております。

それから、新たな取り組みとしまして、調布市立第四中学校の部活動と協力をいたしまして、吹奏楽部の演奏と茶道部による野点を楽しむ会を3月に開催いたしました。部活動の成果発表の場となり、また中学生と地域の人々の触れ合う機会といたしました。こちらは、参考資料の最後のページにその行事の様子が写真を掲載しております。

続きまして、13ページのボランティア事業でございますけれども、ボランティア事業では、平成30年度の当初登録者が26名でございました。ボランティアガイドは定着もしておりまして、利用者、ボランティアともに満足度が高くなっております。原則として土曜・日曜を交互に実施いたしました。

環境整備グループのほうでは、平成29年度後半から始めた実篤公園の菖蒲園の手入れをその後も継続したことで、お花の数、開花数が増えて、来館者からも好評得ることができました。

13ページ一番下の友の会事業では、平成30年度の会員は71人、隔月でニュースの発行を行っております。

14ページですが、広報事業でございます。引き続き広報、それから情

報提供に努めてまいりました。

14ページの下段から15ページの上段の印刷物の編集・刊行事業でございますが、新しき村創立100周年の特別展に関しては、通常よりも資料の内容の多い100ページあまりのものを制作して、今後とも活用できる記録といたしました。

この特別展図録につきましても、参考資料の2ページ目の下のほうに図版を掲載しております。

それから、ぐるっとバス事業では、平成30年度も東京ミュージアムぐるっとバス2018に参加いたしました。利用者数が633人となっております。

続きまして、16ページ、資料収集・管理事業でございます。

アの資料収集は、この一覧のようなものが新しく収納したものでございます。平成30年度の主な収集といたしましては、河出書房の編集者であった方がお持ちであった原稿とか書簡、それから署名本など、あわせて67点のご寄贈がありました。購入における図書などにつきましては、特別展に関連して新しき村関連の資料の収集をいたしました。

18ページで、4番の資料整理・保存事業でございます。

こちらの表にあることではないんですが、平成30年度は特徴的であったのは、旧武者小路実篤邸の国の登録有形文化財の登録にかかわることとございまして、こちらは調布市の文化財行政の窓口となっています郷土博物館と連携して対応に当たり、11月に登録されております。

それから、18ページのイに修復、複製制作が並べてございますが、傷みのある作品などの修復と、それから複製の制作を行いました。修復したものについては、例としまして、参考資料の3ページ目の下のほうに図版を掲載しております。

収蔵品データベースにつきましては、前年に対して590件の追加をいたしております。

特徴的なことといたしましては、データベースについては、平成30年度は利用件数が45万8,088件なんですが、前年29年に対して2倍近い利用になっております。これはおそらく平成29年度の半ばから新たに利用者になったゲーム関係で入ってきた方たちが資料に大変興味を持たれたということがありまして、積極的に検索などがされたものかと思われます。

続きまして、19ページ中段以降ですが、閲覧サービス・情報公開事業

でございます。

一般閲覧につきましては、こちら表にまとめてございます。利用者総数が4,240人で、前年より減っているように見えるんですけども、これは前年平成29年度の「文豪とアルケミスト」のコラボレーションによる入場者が8月に非常に増えていて、その方たちがかなり利用されたんですけども、その分について増えて見えるということですけども。総入場者数に対する閲覧の利用者数の割合はほとんど変わってなくて、平成29年度も平成30年度も43%程度でございます。ここには出てこないんですが、平成27年度、平成28年度に比べますと、五、六%上がっている状況で、ゲームコラボ以来、閲覧者、利用者が増えているという状況かと思います。

続きまして、20ページの調査・研究事業でございます。20ページから22ページにまとめておりまして、結構長大なんですけど、この中で平成30年度で特徴的なことといたしましては、平成29年度から引き続き新しき村100年に向けて、村に関する資料の調査と、新しき村の現状の記録に努めて、それを特別展と関連事業に生かしてまいりました。

また、調布市が映画のまちであるということを踏まえまして、過去に映画化された実篤の文学作品に関する資料の調査を集中して行いました。これについては、参考資料の1の3ページ目の右下のところに、北九州の松永文庫に調査に行ったときの記録写真ございますが、こういった形で何力所かで資料調査などをさせていただきました。これも、いずれその成果を発表できるように努めてまいります。

また、平成29年度から借用しております白樺同人長與善郎に関する資料の整理を進めました。

続きまして、23ページの自主事業に入ります。上段の物販事業でございますが、毎年バレンタインシーズンに販売している限定チョコレートにつきましては、平成29年度が2,500個だったのに対して平成30年度3,000個にしたんですけども、今回大変反響が大きくて、調布市内で販売した2,500個については、6日間で完売するという反響をいただきました。

それから、ミュージアムショップに関しましては、来館者アンケートでずっとやや評価が芳しくなかったということ、それから平成28年度、平成29年度のミュージアムアドバイザーの指摘にも同様の内容が入ってありましたことから、ショップのリニューアルを12月に行いました。これ

によって、ショップ空間の魅力が向上したということもありまして、販売も好調になりました。

ここで1つ訂正をさせていただかなければいけないんですが、23ページの物販の表の下から4行目のところのトートバックの部分で、制作時期のところに誤字がありまして、「平」という字が入ってしまっているんですが、12月に訂正をさせていただきたいと存じます。訂正が間に合わず申しわけございませんでした。

それから、自主事業についてでございますが、桐朋学園大学、それから先ほど学校との連携のところでも説明いたしました第四中学校の部活動の協力でそれぞれコンサートの開催、それから、せんがわ劇場との共催で朗読ワークショップの開催を行っております。

24ページの広告でございますが、仙川駅前の看板に案内広告を掲載いたしました。こちらは、参考資料1の4ページ目の3段目の右側のところにその現状の写真を載せております。

施設管理運営事業でございます。24ページのところ、8番でございますが、ごらんいただければと思います。

平成30年度は開館日数が308日、利用者総数が9,895人でした。25ページのほうの表もごらんいただきたいんですけども、利用者総数が、平成29年度が1万1,233人であったのに対して、1,338人減少しているんですが、平成29年度はゲームとのコラボレーションによって、8月の利用者数が2,500人増加していることを考えますと、それに対する減少としては小さい、むしろやや増えているという状況でございます。

本日の当日配付の資料の参考資料2が、3年間の利用者推移になっておりますけれども、こちらをごらんいただくとほぼ同じ状況で推移してきていることが、平成29年度がちょっと突出しておりますが、それ以外ですとほぼ同じように推移してきていることがわかりいただけるかと思います。

ちょっと戻りまして、6ページの施設運営管理事業のアの部分でございますが、指定管理業務としての実篤記念館の施設管理運営では、平成30年度といたしましては、3カ年計画で行ってきた収蔵庫の二酸化炭素消火設備のガス弁の取りかえが最後の3年目分を実施して完了いたしました。

また、展示室の床の木ブロックの目地の補修、それから、雨漏りの修繕など、必要な修繕を実施いたしました。

それから、隔年で実施しております環境調査を行って、収蔵環境、展示環境の状況把握を行い、保全に努めました。

日常的な管理に関しましては、27ページと28ページに表に一覧にしてございます。

修繕につきましては、30ページに一覧にしておりますので、こちらをごらんいただければと思います。

また、平成30年度につきましては、毎年ミュージアムアドバイザーにさまざまなご提案をいただいておりますが、こちらを平成30年度は施設設備の運営管理についてを行いました。本日お手元に報告書をお配りしておりますので、詳しくは後ほどその他報告でご説明を申し上げます。

7ページですが、実篤公園の日常管理でございます。緑と公園課から受託しての管理が5年目ということになります。公開に関する業務、それから日常管理、樹木や園路、実篤邸などの状況の把握に努めまして、必要に応じて緑と公園課に報告し、また協力して対応に努めてまいりました。

また戻ります。24ページをごらんいただきたいと思います。平成30年度の実篤公園の開園日数が307日、利用者数が2万8,489人でした。

それから、旧実篤邸の公開業務としましては、公開日数が106日、利用者数が4,109人でございます。

25ページの利用状況のほうをごらんいただきたいんですけども、記念館と公園の両方の利用者の合計が平成30年度は3万8,384人でした。平成29年度が4万1,120人に対して減少はしているんですけども、先ほどご説明したようなゲームコラボとの関係での一時的な増加分が戻ったような形です。

ちょっと平成28年度が休館の時期がありましたので比べられないので、平成27年度と比べますと、平成27年度が3万7,194人でしたので、それに対してでありますと、平成30年度は1,190人、わずかですけども、ちょっと増えているという状況です。

実篤公園の日常管理につきましては28ページの表一覧にまとめてございます。

また戻りまして7ページをごらんください。職員の人材育成についてでございます。平成30年度につきましては、これまで事業係、学芸系の職員につきましては外部の研修などに参加しておりましたが、平成30年度につきましては、総務系の総務係の職員につきましても研修などに参加し

てまいりました。学芸員に関しましては、館内で先般学芸員との間での知識や技術の継承を図っております。

では、また26ページをごらんいただきたいと思います。26ページは入館料、特別撮影利用料、頒布料の収入の報告になっております。

それから、31ページ、32ページが役員名簿と理事会、評議員会の開催内容でございます。

また、本日お配りしました資料の中にアンケートの報告がございます。こちらは館内に設置したアンケート、メールなどで寄せられた意見とご要望、苦情などをまとめたものになっております。アンケートの回収率は入館者に対して14.28%ということでございます。ただ、初めておいでになった方が書かれて、繰り返しおいでになる方は書かれない傾向があるために、アンケートの内容はやや偏ってしまうということは避けられないということかと存じます。

平成29年度のゲームコラボ以来、やや傾向が変化した部分がございます。平成30年度とゲームコラボ前の平成28年度と比較をいたしますと、まず1の性別に関しまして、女性の割合が5%ほど上がっている。それから、年齢で20代、30代の割合が平成28年度までは1割に満たない状況だったところが、2割近くに増加しております。

それから、2ページ目の情報をどのようにして得たかということなのですが、平成28年度は16.88%なのですが、平成30年度は24.56%に上がっておりまして、やはり情報の取得方法が急速にインターネットのほうへ移っているということかと思います。

また3ページ目、11番の今後希望するテーマにつきましても、文学とか白樺派、交友関係についての希望が上昇しておりまして、これもゲームで入ってきた新しい利用者数の関心が反映されているものかと考えられます。

その後に利用者の要望など書き込まれたものについて、後ろのほうにまとめております。内容が重複しておりますのでまとめさせていただいて、66件を記載しております。苦情と考えられるものが6件、ご要望が16件、残りは励ましやお褒めの言葉ということが比較的多く寄せていただいております。

簡単でございますが、事業についてのご説明でございます。

○議長　ただいま事務局から議案第8号の説明がありました。ご質問はありませんでしょうか。議長が質問するという、いいですか。

2点ほどあるんですが、1点は新しき村100年に当たってさまざまな撮影されたと思うんですけれども、それは例えばユーチューブとかで貴重な動画を公開するということなんかはお考えなのかというのが1点で、まずそれいかがでしょうか。

○事務局 ユーチューブに関してなんですけれども、私ども記念館でつくっているさまざまなビデオについて、そういうお話をいただくんですが、ユーチューブに上げてしまうとコピーされて拡散したり改変される可能性があることを懸念しておりまして、現在はまだユーチューブに上げられる環境ではないとビデオ制作とシステムについてのコンサルティングを受けているところとの話の中で、一応そういうふうに考えております。改変などについて危険を感じていると。

○議長 もう1点は最近芦川いづみさんが主演なさった映画が神保町シアターで公開すると。僕も見に行ったんですが、非常におもしろくて観客の反応もよくて久しぶりにこんな爽やかな映画を見たなみたいなことをおっしゃっていたんです。あれを例えば記念館の閲覧室でDVDを置いて、ヘッドホンで1本見られるとか、そういうことは著作権その他の問題とどうなのかなということをやっと聞きたいなと思ったんですけど、いかがでしょうか。

○事務局 それをやるのであれば、あれは日活と契約しないとできないと思います。実篤の著作権だけではなくて日活側の著作権、細かくいいますと俳優さんとか監督さん、脚本の方の著作権もありますし、今ああやって上映しているということは、前の私どもで上映会をやったのなんかも上映のためにお金をお支払いしているんです。日活側としては商品でもありますので、ここで自由に見られる状況にするとしたら、おそらくかなり煩雑な契約と料金の支払いが必要になるかと思います。

○議長 市販されているDVDでもそういうのが発生。

○事務局 市販されているDVDはよく見ていただくと個人使用になっているので、勝手に放送していいというものではないです。

○議長 そこは大学の図書館とかで学生が普通にどんどん見るのとちょっと違ってくるということですか。

○事務局 例えばブースで個人が見るのであればいいんですけど、上映会をやると多分それはおそらく抵触してしまいます。

○議長 僕が言ったのは閲覧室のところでヘッドホンで見るというような環境をつくれないうということなんですけど。

○事務局　　そういうことですね。それはちょっと今実際には再生する装置がないということもありますし、そういう形で上映するのであれば、料金のことはともかくとして、おそらく日活と契約はしないと。

○議長　　了解しました。議長が質問して失礼いたしました。ほか、何かございませんでしょうか。

○小西評議員　　1点だけ、初めて気がついたんですけど、細かい話ですけど、11ページの団体解説のところで、今年たまたまなんですけど、年間18回って結構多いなと思ったんですけど、どんなところから、316というのは18回に参加された人数の総数であって、例えば大体でいいのでどういったところの団体というか、申し込まれてこちらに来ていただいているんですが、どんなところが多いですか。

○事務局　　実はいろいろです。例えばウォーキングのグループでいらっしゃるというようなこともありますし、あと絵手紙の教室の方がおいでになるということもございますし、文学散歩とか学校とか職場のOB会とかそういうのもありますし、先生の団体というのも中学校の他県他市だったと思うんですけど、中学校の先生方の企画で団体でいらして解説をとということもございました。

それからあと、日帰りでバスツアーをやっているポケカルってあるんですけど、そこが何回か来たりとかもあります。あとは今年じゃないですが、市の学校のPTAで活動されている方がいらしたりとか、非常にいろいろです。あと思想系のコミュニケーションに関して何か勉強会をなさっている方が今回に関しては新しき村に関心を持たれたことで、団体解説を求めてこられたというような感じで、実にいろいろです。

○小西評議員　　分かりました。ありがとうございます。

○議長　　ほかにご質問ないでしょうか。

（「異議なし」）

○議長　　それでは、異議なしと認め、議案第8号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告（案）の承認について」は、了承することと決定いたしました。

続きまして、議案第9号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算書（案）の承認について」を議題といたします。事務局からの説明をお願いいたします。

○事務局　　それでは、議案第9号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算書（案）の承認について」、ご説明させていた

できます。お手元の収支決算（案）を見ていただきたいと思います。

A3でちょっと折り込んでおりますので、見にくい状態、ちょっと広げていただかないと見にくい状況でございますが、順を追ってご説明させていただきます。

平成30年度収支決算書は本財団の決算につきましては、公益法人会計に準拠いたしました財務諸表よりご説明させていただきます。

1 ページ目をごらんいただきたいと思います。平成30年4月1日から平成31年3月31日までの収支決算書でございます。一般会計と特別会計を分けて作成しており、左から予算額、決算額、差異、説明としては主な収入や支出の内容をあらわしております。説明欄に収入、支出の内容について記載しておりますので、差異の大きな項目を中心にご説明させていただきます。

まず一般会計事業活動収支の部、事業活動収入でございます。補助金、指定管理料、受託事業収入、利用料金収入、諸収入からなりまして、事業活動収入の合計が予算額1億2,381万7,000円に対して、決算額が1億2,374万8,204円で、6万8,796円の差異でございます。

差の大きいところで申しますと、3、受託事業収入の展覧会受託、2、受託事業展覧会受託でございます。宮崎県の木城町が新しき村100年のために私どものほうで展覧会を受託してほしいというお話がございましたが、今年度に入りましてから事業変更のため受託しなくなりまして0円となっております。

また、利用料収入の中では頒布料収入が34万7,040円ほど差異、つまりプラスなんですけれども、頒布料収入が伸びたということで大幅な増になっております。

次に事業活動支出でございます。1、管理費支出、こちらは人件費、事務費からなっております。財団職員の非常勤職員、臨時職員の人件費と財団運営にかかわる事務費でございます。管理費支出合計が、予算額が8,650万5,000円、決算額が8,320万3,360円、差異としては330万4,664円でございます。執行率としては96.2%に当たります。

差異の大きいところで申しますと社会保険料が132万2,884円となっております。これは社会保険料のうち主に社会保険料の給与月額が想定より伸びなかったこと、健康保険料と介護保険料の減額、雇用保険の対象者が1名減によるものが大きな理由となっております。また、旅費が

26万1,882円の残でございます。これは長距離の出張を想定しておりましたが、こちらで財団のほうでの支出がなく、理事長と職員が木城町への記念式典の出席のために出る交通費については、木城町のほうから実費については支出ということになりましたので、その支出がなかったことから差異が大きくなっております。

次に事務費支出のほうで、大きな差異は負担金でございます。20万9,600円、これはぐるっとパスが毎年負担金となっております。ぐるっとパスは1年ごとの実行委員会形式で、当初15万円の負担金を支払っております。年度末の精算で赤字がなければ、55万円が戻ってきましたので、この55万円を最後に戻入したために予算の残額が20万9,600円となっております。

公租公課に関しては17万3,518円。主に一般会計の消費税分15万1,899円でございます。これは今回は昨年度よりは受託事業収入、指定管理料、利用料収入、諸収入が消費税の対象になっておりますが、総額に対して比較的割合が少なかったということで、この金額になっております。

繰出金7万円に関しては、法人税一括支払いのために一般会計分の均等割額を特別会計から一括で払うためにその費用を繰り出したものでございます。

次に2ページをごらんください。事業支出は予算額1,689万9,000円に対して、決算額1,629万4,518円、差異が60万4,482円でございます。これにつきましては、1、普及促進事業費支出の使用料及び賃借料に関しては、8万4,265円差異がございます。これは新しき村美術館の作品借用料につきましては、新しき村のご協力での免除ということになりましたので、その支出がなくなったということで、これだけの残額になっております。

普及促進事業費の支出は執行率98.2%、2、資料管理事業費の支出は執行率98.8%、3、情報提供システム事業費の支出は執行率98.3%となっております。また、4、受託事業支出に関しては先ほど申しましたように、木城町の受託が計画変更となり実施しておりませんので、いずれも決算額は0円となっております。

3、施設管理費支出でございます。予算額2,036万3,000円に対し、決算額は2,028万5,349円、7万7,651円の差異でございます。99.6%の執行率でございます。

次にそのうち施設管理運営事業費に関しては、実篤記念館の施設の管理、光熱水費や修繕、保守点検等の費用になっております。執行率は 99.8%でございます。

2、実篤公園管理事業費でございます。執行率は 99.1%、これは実篤公園の日常管理にかかわる費用で、シルバー人材センターに対する実篤公園の日常管理の業務の警備、それから清掃委託などの費用でございます。

以上で事業活動支出の合計は当初予算が 1 億 2,376 万 7,000 円に対して、決算額は 1 億 1,978 万 203 円、差異が 398 万 6,797 円でございます。

これに対して事業活動収支差額が予算額が 5 万円になっておりますが、これは予備費の分でございます。決算額が 396 万 8,001 円となっております。

投資活動収支の部はございません。

Ⅲ、財務活動収支の部では、2、財務活動支出で返還金が 396 万 8,001 円となっております。市の補助金、指定管理料、実篤公園日常管理の委託料の収支の残額でございます。

次に、予備費支出でございます。予備費予算額は 5 万円ですが、執行はございませんでした。決算額は 0 円。

これによりまして当期収支差額は、予算額、決算額の差異いずれも 0 円となります。前期繰越収支差額は決算額で 13 万 2,569 円がございします。これは平成 29 年度受託事業の支出の残額分に当たります。

以上で次期繰越の収支差額は同額の 13 万 2,569 円となっております。

2、次に特別会計でございます。平成 30 年 4 月 1 日から 31 年 3 月 31 日までの特別会計の収支決算書でございます。

I、事業活動収支の部です。自主事業収入は予算額が 883 万 5,000 円に対して、決算額は 567 万 9,630 円、差異が 315 万 5,370 円でございます。平成 29 年度の文アルコラボの規模に対応できるようにしたこと、当初ミュージアムショップの改修費用を繰入金で対応を予定しておりましたが、決算では投資活動収支での対応となり、繰入金の決算額は 0 円となりましたので、差異が 315 万 5,370 円と大きくなりました。

次に事業活動支出でございます。自主事業支出 883 万 5,000 円の予算額に対して、決算額が 536 万 4,219 円、差異が 347 万 781

円でございます。そのうち大半を占めます物品販売事業費支出でございます。決算額が486万4,541円に対して、差異が258万5,459円で、執行率が69.8%になります。商品仕入れのほうでは若干大きく差が残っておりますが、これは先ほど申し上げましたように文アルコラボの大きな規模を想定した商品仕入れを想定しておりましたので、それで小さくなっております。実際は仕入れ費が431万9,059円、商品期末残高の昨年度29年度との差額33万7,341円を引いた額の398万1,718円でございます。支出の執行率としては93.9%になっております。

次に委託料はミュージアムコーナーの改修設計委託のみの計上となっておりますので、決算額は27万4,050円ということで、差異が150万5,950円と大きくなっております。

公租公課に関しては均等割等を含む法人税13万3,700円、消費税の特別会計分の2万3,201円が主なものでございます。税金としてはそれほど支払わずに済む状況になりましたので、24万3,094円の残となりました。

次に、3、自主事業でございます。決算額が49万9,678円でございます。差異が87万5,322円でございます。自主事業にかかわる費用としては、自主事業の謝礼や消耗品、観梅会や朗読会の開催費用、文アルタイアップ企画にかかわる費用、備品購入費などでございます。

差異として残りましたのは、当初文アルの大きな規模の支出を見込んでおり、そこで人件費をかなり予定しておりましたが、それを執行することがなかったものですから、これだけの差異となりました。

以上で事業活動支出の計が予算額が883万5,000円、決算額が536万4,219円、差異が347万781円。事業活動収支の差額は31万5,411円となります。

Ⅱ 投資活動収支の部でございます。投資活動収入は0円、投資活動支出のほうで今年度初めて固定資産取得支出ということで、ミュージアムコーナーの改修の什器備品にかかわる費用144万5,688円を支出いたしました。

以上で投資活動収支の差額がマイナス144万5,668円となりました。

次に財務活動収支の部、これはございませんので0円でございます。

予備費は予備費支出はございませんでしたので0円でございます。

以上をもちまして当期収支差額は予算が0円、決算額がマイナス113万277円でございます。前期繰越収支差額が453万3,237円に対して、次期繰越収支差額は340万2,960円となります。

次に、5ページをごらんください。正味財産増減計算書です。平成30年4月1日から平成31年3月31日までの一般会計と特別会計の連結した事業費の収支、資産の増減をあらわしております。

個々の当年度と金額については、さきにご説明した収支決算の内容でございますので、右側の欄に増減の主な理由を記載しております。特に経常収益の受託事業収入のほうでマイナス350万とございます。これは高鍋町の美術展覧会が終了したものでございまして、この差が大きくなっております。

また諸収入の雑収入41万9,392円が大きくなっておりますのは、移動ケースの対物賠償保険が支払われたために、この金額が大きくなっております。

自主事業収入のほうでは、物品販売事業が前年比の売り上げ減ということで、208万6,169円の減となっております。

以上で経常収益の合計が当年度1億2,942万7,834円で、昨年度より758万249円の減となっております。

次に経常費用でございます。管理費が8,320万336円で、昨年度より88万2,555円の増でございます。人件費に関しての増は基本的には昇給や期末手当等の改正、臨時、非常勤等の時給の増ということでございます。

また、社会保険料支出に関しての64万5,468円の増に関しては、昇給等の増ということと介護保険対象者が1名増えたということで、大幅な増となっております。

次に事務費でございます。事務費はほぼ差がない状況でございます。

次の6ページの一番上に公租公租でマイナス25万683円ということで、これは大幅な消費税の減ということでございます。

次に事業費でございます。合計1,629万4,518円に対して、昨年度より415万8,121円の減でございます。大きなところでございますが、情報提供システム事業費でございます。マイナス92万5,869円でございます。これは情報提供システムの機器の再リースが進みまして、それによってリース費用が大幅に減額になったということが反映していること、その上の委託料に関していいますと、システム機器の一部入れかえ

の作業というのがその単年度だけでございましたので、その費用がなかったということで92万円あまりの減となっております。

また展覧会受託に關してのマイナスに關しては、展覧会受託の事業収入により増えてございます。

施設管理費でございます。当年度の決算額は2,285万349円に対して、昨年度より141万2,370円の減でございます。これは隔年の環境調査と燻蒸作業の費用差額による減が大きくなっております。

次に自主事業費でございます。こちらは物販事業の収入の減、文アルのタイアップ等による著作権の増、ブースコーナーのリニューアルの委託による増などがございます。また、公租公課では収入減による法人税、消費税の減ということで、31万5,815円ほど減になっております。

最後の減価償却費でございます。これは今年度から入りましたものでございます。9万355円を記載しております。ショップコーナーの什器備品の減価償却分の今年度の分を記載しております。耐用年数は8年で什器取得の費用を8年分で割った金額となります。

以上で経常費用計が1億2,523万4,777円、前年度に対して580万731円の減でございます。

次に当期経常増減額でございますが、419万3,057円となっております。

次に、7ページをごらんいただきたいと思います。当期経常増減額の419万3,057円から返還金396万8,001円を引いた額が当期一般正味財産増減額となり、22万5,056円。そして、一般正味財産期首残高が466万5,806円に対して、一般正味残高期末残高が489万862円となります。

Ⅱ 指定正味財産増減分は法人会計の一括支払いのための均等割の7万円が寄附金という形で入っておりまして、これは税金対象から節税のための対応をしております。

以上で指定正味財産増減額が7万円、期首残高が498万9,768円に対して、期末残高が505万9,768円となります。

Ⅲ 基本金増減額、こちらは財団発足に当たり調布市より基本財産300万を出資された金額でございます。当期の増額はございませんでしたので、期末残高は300万円となります。

以上でⅣ 正味財産期末残高は1,295万630円で、前年度より29万5,056円の増となっております。

次に、８ページをごらんいただきたいと思います。貸借対照表です。これは平成３１年３月３１日現在の負債も含めた資産の合計をあらわしております。現在の資産などがどのような状態になっているかを示すものです。

Ⅰ 資産の部、現金預金が当年度は２，５０１万４，９２８円でございます。内訳は書いてあるとおりでございます。流動資産の合計が２，７２５万７，１３１円、昨年度より３１３万１，９０２円の減でございます。

固定資産は投資有価証券としてＳＭＢＣ日興証券で大阪府公募公債を購入し、運用しております。投資有価証券購入額の２９９万５，２０２円が購入金額となっております。

その他固定資産では什器備品の当年度の減価償却費を引いた金額として１３５万５，３３３円を計上しております。またリース資産としては、財団のパソコンや車両、コピー機等のリース資産でございます。９１０万７，７２２円、前年度より１２３万５，５２６円の減でございます。

以上で固定資産の合計が１，３４５万８，２５７円。増減としては１１万９，８０７円の増でございます。

資産の合計が４，０７１万５，３８８円でございます。

Ⅱ 負債の部でございます。流動負債の合計が２，７７６万４，７５８円でございます。内訳は未払金や預かり金、未払消費税、法人税、リース債務でございます。

Ⅲ 正味財産の部。基本金が３００万円でございます。有価証券と残りの現金４，７９８円は普通口座で管理しております。

２、指定正味財産、寄付金でございます。指定正味財産で寄付金額と同額の指定正味財産合計の５０５万９，７６８円でございます。

次に３、一般正味財産でございます。一般正味財産の合計が４８９万８６２円、正味財産の合計が１，２９５万６３０円でございます。前ページの正味財産増減計算書、最後の正味財産期末残高と同額となります。

最後に負債及び正味財産合計の４，０７１万５，３８８円は資産の合計と同額となります。

次に９ページをごらんいただきたいと思います。平成３１年３月３１日現在の財団の財産目録で、現在の資産と負債の内訳になります。流動資産の合計が２，７２５万７，１３１円、固定資産の合計が１，３４５万８，２５７円、資産合計が４，０７１万５，３８８円でございます。

Ⅱ 負債の部です。負債の流動負債の合計が２，７７６万４，７５８円。

負債合計が同額の2,776万4,758円。正味財産の合計が資産合計から負債を引いたものでございますので、1,295万630円でございます。これは7ページの正味財産増減計算書にございます正味財産期末残高と同額となります。

10ページをごらんいただきたいと思います。当財団の財務諸表に対する注記でございます。財務諸表作成に当たり重要な会計方針が記載されております。この会計は公益法人基準を採用している点、棚卸資産の評価方法、消費税等の処理方法などを記載しております。新たに固定資産の減価償却の方法が記載されております。

11ページをごらんください。4月25日に行われました新井監事、源後監事による業務監査及び会計監査の結果につきましての監査報告でございます。

以上、雑駁でございますが、平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算（案）の説明とさせていただきます。

○議長 ありがとうございます。ただいま事務局から議案第9号の説明がありました。ご質問はありませんでしょうか。非常に多岐にわたったご説明でしたが。

（「異議なし」）

○議長 それでは、異議なしと認め、議案第9号「平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算書（案）の承認について」は、了承することと決定いたしました。議案につきましては以上となります。

続きまして報告事項に入ってまいりたいと思います。報告事項について事務局からよろしくお願いいたします。

○事務局 報告事項として1件報告させていただきます。報告第1号「令和元年第2回調布市議会定例会に提出する一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の経営状況報告について」であります。これは調布市における財政監理団体である一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の平成30年度における事業報告と収支決算、あわせて令和元年の事業計画と予算に関する経営状況について、来る令和元年6月に開催が予定されている令和元年調布市議会第2回定例会に報告案件として提出する必要があるため、提出いたしました。

報告の中身に関しては本日ご承認いただいた議案の内容をもとにして経営状況報告を作成するものでございます。報告は以上でございます。

引き続きその他報告ということで、本日お配りいたしました資料につい

て簡単なお説明をさせていただきます。

参考資料 1 から 3 は先ほど伊藤が事業報告を説明しながらご説明させていただきましたので、割愛させていただきます。また、平成 30 年度のさまざまな事業報告、平成 31 年度の正規の事業予定などをご紹介している官報 36 号、多摩川イベントラリーというパンフレットをお手元に出しております。多摩川の流域の自治体交流ということで、それぞれの市が 1 つのイベントを決めて、ラリーをやっていくということで、私どもは 7 月 2 日から 9 月 1 日の夏休み企画「おしえて！武者小路実篤」を対象イベントとして調布市のイベントとしてさせていただいております。比較的これは広範囲からお客様が来られるということで、来館誘致ということで非常に効果のある事業ということで、参加させていただいておりますので、ありがとうございます。

次にミュージアムアドバイザーの報告でございます。冊子を入れさせていただきました。これまでのミュージアムアドバイザーというのは事業計画、どちらかというと事業の内容の点検なり展覧会や普及事業などの点検というようなアドバイスでしたけれども、今回施設設備の報告にいたしました。これはきっかけとしては平成 28 年度にやりました空調工事の後、空調が安定しないというような問題とか、また記念館増築後で申しますと、25 年あまりが経過しているということで、施設の老朽化、設備のいろいろな問題が出てきているということで、一度専門の方に点検なり調査をしていただくことで、我々の今後の施設管理の考え方、計画的なものに参考にしていきたいという思いがございまして、今年は施設設備をテーマとさせていただきます。

報告をしていますのは株式会社八武組となっておりますが、報告調査担当の服部氏がこちらの建物を設計いたしました坂倉建築研究所に勤めていらっしゃる方で、こちらの増築にもかかわりましたし、水害の後の大規模な修繕などは服部さんが担当してやられたりということで、長く私どもの建物、設備について定期的にかかわっていただいた方でございますので、そういう方にいろいろかなり私どもの建物は特殊的なもので、そういった事情をよくわかっていらっしゃる方にアドバイズ報告を受けたらということで、お願いした次第でございます。

建物については非常に躯体としてはそれほど問題はないようですが、幾つか雨漏りだったりそういったところで、仮設の足場を組んだ工事が必要になってくるというのは計画的にやったほうがいいということと、

やはり展示、空調と照明、安定的な問題はやはりなるべく早く見直す必要があるということ、特に設備のほうで申しますと展示品の保管グレードの高度化ということですので、つまり貸し出しなり作品の保存環境、展示環境に求められるものが開館時または増築時以上に今かなり高度な温湿度の管理、照明の管理、照度の管理を求められてきておりますので、そういったことを少しずつ解決していくように計画的にやっていく必要があるとなっております。

建物自身は雨漏りとか防水といった細かなところの修繕はまだ必要であります、躯体に関しては特に短期的な改善ということでは少なくなっているかと思えます。

また展示ケースの電気とか照明も大きな工事になりますので、計画的な見直し、展示計画とかの見直しにあわせてということでございますが、空調設備の改善、それができないのであれば展示ケース、展示品の保護使用を想定した展示掲出の改修というようなことが短期的な改善としてはご報告いただいているようでございます。

ほかに電気設備等も計画的な修繕ということでございますので、これに関しては市と協議をしながら、こういった問題があるということを常に私どもが把握しながら、計画的に事業を進めてもらうための1つの指針としていきたいと思っております。

5ページ以降の設備関連については空調工事に関しては非常にまだ安定がなかなか難しいということで、対処療法の除湿器や加湿器をかなり入れているということもございまして、安定的な運用に根差して今までの経緯や問題点など、短期的な改善策、中長期的な改善策等のご提案をいただいております。

その他報告は以上でございます。

○議長　ただいま事務局から報告事項の説明がありました。ご質問はございませんでしょうか。

（「異議なし」）

○議長　それでは、なしと認め、報告事項を終了といたします。

以上で本日予定していた案件は全て終了いたしました。

最後に事務局からほかに何かございますでしょうか。

○事務局　評議員会の理事選任に先立ち、役員の皆様の時間的なご負担を考慮させていただいたことから、理事長の選定をいたします臨時理事会を先ほど開催いたしましたことをご了解いただきたいと存じます。本評議

員会で理事の選任が決定の運びとなりましたので、改めて本日令和元年5月10日現在の一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の役員名簿を配付させていただきます。なお、臨時理事会では引き続き武者小路知行氏を理事長に選定することに決定されました。

説明は以上でございます。

○議長　それでは、配付は。

○事務局　今、配りましたのが評議員、理事、監事、福田相談役まで記載された名簿でございます。理事に関しては2年の任期、評議員の皆様に関しては4年の任期でちょうど折り返し地点ということになります。相談役に関しては2年の任期ということで、5月2日からまた2年間お願いすることになりました。

名簿の説明は以上でございます。

○議長　それでは、これにて令和元年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館第1回定時評議員会を閉会とさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

(午後5時17分　閉会)